

20・7パーセントぞう

【二一〇・七%増】

アコムの二〇〇五年三月期決算における連結
経常利益の前期比増加率。中間決算時点の
計画をも上まわる結果。これにより、増収増益
が次の目標に。

www.acom.co.jp/ir/

■2005年3月期決算のご報告

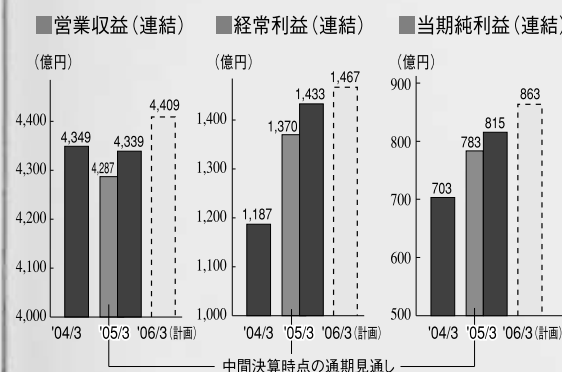
アコムIR辞典 — に

計画以上の大幅増益を達成。
アコムの二〇〇五年三月期決
算は、おかげさまで連結経常
利益が千四百三十三億円とな
り、前期比二〇・七%増の大幅
増益を実現することができま
した。これは、中間期の計画を
さらに四・六%も上まわる結果
です。
増益を支えた収益面の変化。
大幅増益の理由について、営業
収益の約九三%を占めるアコム
単体を用いて説明いたします。

計画以上の結果を出せたその主
な要因は、貸倒費用の三百三十
億円に及ぶ削減をはじめとする
コスト面の圧縮に加え、ローン事
業も営業収益で計画を上まわる
ようになつてきたことにあります。
二〇〇三年十月から債権の質の
向上へ取り組んでまいりました
結果、良質な顧客層が拡大、無
担保ローン残高の減少率が急激
に縮小し、今期はいよいよ残高
の増加が見込めるまでに至つて
います。コスト面よりもむしろ、



■2005年3月期決算のご報告



こうした収益面における予想以
上に速い成長へ向けた変化が、こ
の度的大幅増益実現の最大の要
因であつたととらえています。
拡大するアライアンス戦略。
アコムではローン事業で培った
独自のノウハウ・スキルを活用
して、さまざまな企業とアライ
アンスを組み、各種の金融周辺
事業を展開しています。なかで
もクレジットカード事業・信用
保証事業・サービサー事業は順
調に成長を続け、その営業収益

www.acom.co.jp/ir/

アコムIR辞典 — に

合計は、二〇〇五年三月期決算
で、前期比六五・七%増という
大きな成果をあげることができ
ました。またこうした戦略の一
環としてMTFGとの提携を
推進。この一月には、アコムに
よるDCキャッシュワンの子会社
化とデブシーカードの持分法
適用関連会社化を終えました。
現在、保証業務をはじめとする
各提携スキームの開始時期が従
来計画よりも若干遅延してはい
ますが、今期下期以降から徐々

に開始し、来期以降には大きな
効果が現れてくると考えており
ます。ぜひ、ご期待ください。
成長への自信は、いま確信へ。
増収へ向けた変化が見られた二〇
〇五年三月期の状況は、私たち
アコムグループに成長軌道への回
帰を確信させる内容であつたと
いえます。今後も、株主の皆さま
の信頼にしっかりと応えできる
よう、全力を尽くしてまいります。
**アコムは、いま、
もっと大きな可能性へ。**

